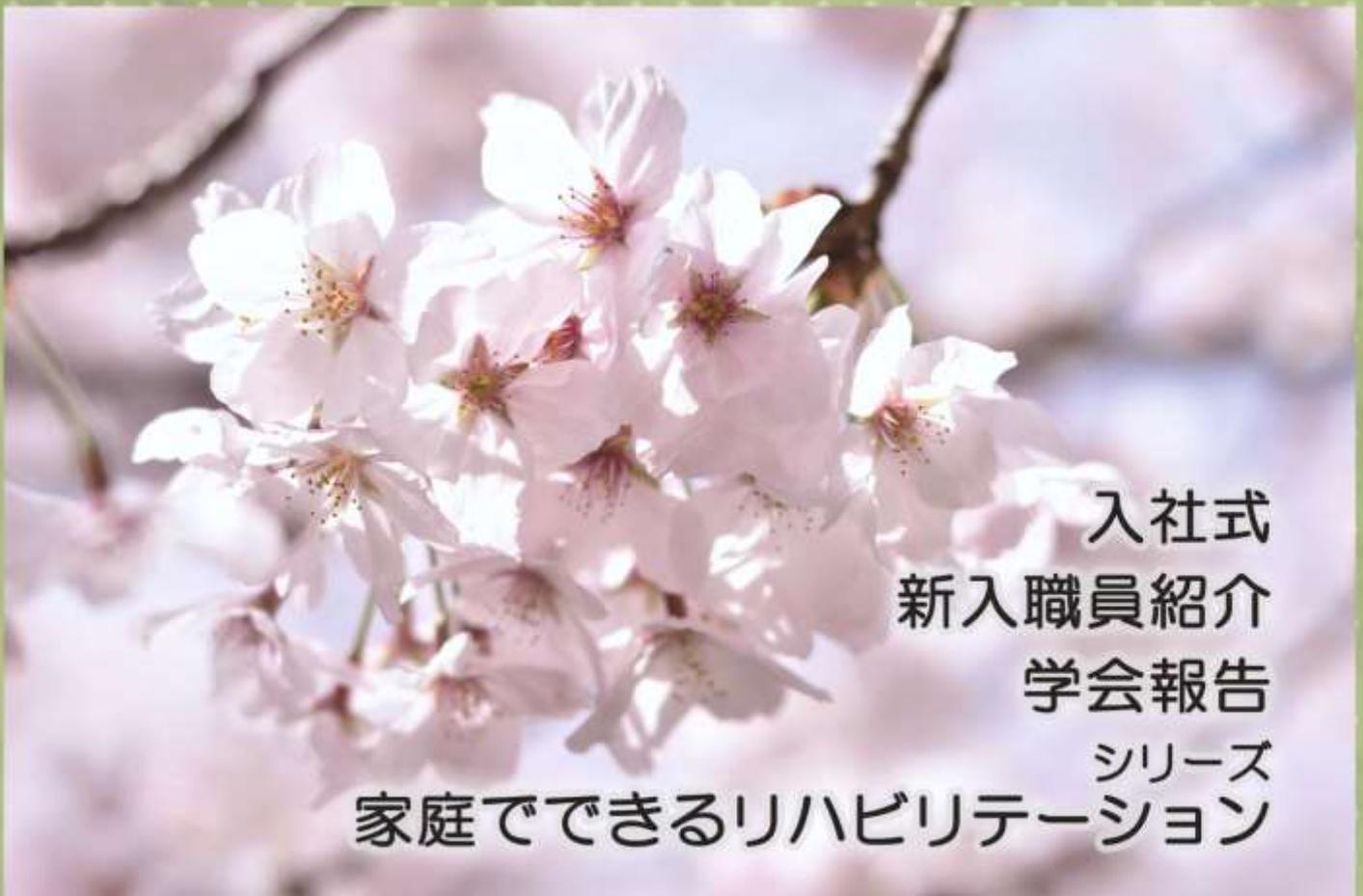


# 誠愛

広報誌  
平成28年 春号  
特定医療法人社団 三光会  
誠愛リハビリテーション病院

# TIMES



入社式  
新入職員紹介  
学会報告  
シリーズ  
家庭でできるリハビリテーション

〒816-0956 福岡県大野城市南大和2丁目7番2号  
電話:092-595-1151  
メールアドレス:info@seiai-riha.com  
ホームページ:http://www.seiai-riha.com

## 入 社 式

平成 28 年 4 月 1 日（金）、当院新棟研修室にて、平成 28 年度入社式が行われました。入社式には全職員が参加し、入職辞令・理事長挨拶・院長挨拶・新入職員挨拶が行われました。

今年度は、医局 1 名、看護部 4 名、リハビリテーション部 19 名の計 24 名が入社しました。

今回は代表してリハビリ部新人 3 名の挨拶を掲載します。

今後の活躍をどうか見守り、そして期待下さい！！



こんにちは。新入社員の理学療法士の北島です。  
一日でもはやく患者様に寄り添い、お役に立つために一生懸命頑張りますのでよろしくお願い致します。

リハビリテーション部 理学療法課 北島義俊



こんにちは。新入社員の作業療法士の古川です。  
希望していた病院で働くことができ嬉しいです。  
早く患者様のお力になれるように日々努力します。精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

リハビリテーション部 作業療法課 古川茉由子



初めまして。新入社員の言語聴覚士の中嶋です。  
一日でも早く仕事に慣れて、患者様、ご家族様のお役に立てるよう頑張ります。明るく元気な言語聴覚士になれるよう頑張りますので、よろしくお願い致します。

リハビリテーション部 言語聴覚課 中嶋華恵

## 家庭でできるリハビリテーション ～食事の方法① 姿勢について～

言語聴覚士 竹下直樹

摂食嚥下障害は、飲み込みに関する障害であり、肺炎や窒息につながる恐れがあります。食事の際の姿勢を調整し摂取することで、飲み込みやすくなり、誤嚥や肺炎の予防につながります。また、食事に対する意識が向き、自分で食べる事にもつながっていきます。今回は、肺炎や窒息を予防し、より安全に食事を摂取する為、食事の際の「姿勢」についてご紹介させていただきます。

### ベッドでの食事の場合



- ① 頭の後ろに枕を入れ、顎が前に出ないようにします。その際の目安は、顎と喉仏の距離が指3本分になるように、軽く顎を引きます。  
(図A参照)  
※そば殻のまくらは、時間が経つと形状が変わりやすいので、お勧めしません。
- ② ベッドのギャッジアップを使用して、頭と足を高くし、くぼみを作り、そこにお尻がおさまるようにします。  
※ギャッジアップの角度は患者さんによって異なりますので、担当のセラピストへお尋ねください。

### 車椅子での食事の場合



- ① 背筋を伸ばし、軽く顎を引いた姿勢にします。  
※その際の目安も、上記の図Aをご参照下さい。
- ② 手に麻痺がある場合、麻痺側の手をテーブルにしっかりと置きます。
- ③ テーブルは、食事がきちんと見えるようにし、軽く肘がつく高さに設定します。
- ④ 車椅子の足置きから両足を降ろし、足の裏を床につけます。

※今回、ご紹介しました姿勢は、あくまでも一例です。ベッドギャッチの角度など、各々の患者さんの状態に適した姿勢がありますので、詳しくは担当のセラピストへお尋ねください。

## 「学会報告」

リハビリテーション部 理学療法課 青木淳

平成28年3月4～5日に沖縄コンベンションセンターで開催されました「回復期リハビリテーション病棟協会 第27回研究大会 in 沖縄」に参加させていただきました。

私は「回復期リハビリテーション病棟における脳卒中片麻痺患者の病棟トイレまでの歩行自立獲得までの日数を予測する回帰式の開発」という演題でポスター発表いたしました。

歩行に対する段階的な目標を設定するうえで、最初の目標として設定するトイレまでの歩行自立に要する期間を把握することは重要であると考えています。

今回の研究の結果から、入院時の評価項目の点数を入力することで、トイレまでの歩行自立日数を予測することができます。

日数に影響を及ぼす因子として、下肢・体幹機能が大きく関与しており、早期より機能改善を図ることが重要と言えます。また、移乗・移動動作などの実生活の場面で適応していく能力も重要であることがわかりました。

発表では、沢山の質問やアドバイスをいただくことができ、今後の研究に活かしていきたいと考えています。



### 患者さんの権利宣言

当院では次に掲げる患者さんの権利を尊重した医療を行います

- 1.個人の尊厳とプライバシーを守る権利
- 2.良質で適切な医療を公平に受ける権利
- 3.自らのことを知り、説明を受ける権利
- 4.医療行為を選択、そして決定する権利
- 5.セカンド・オピニオンを申し出る権利
- 6.自分の診療に関し記録情報を得る権利
- 7.日常生活に配慮した医療を受ける権利

### 患者さんへのお願い

当院では患者さんの権利を尊重するとともに、以下のことをお願いしています。ご理解とご協力をお願いします。

- 1.ご自身の健康状態の変化に気づかれた場合は速やかにお伝えください。
- 2.検査や治療などの医療行為は、十分な理解と合意の上、お受けください。
- 3.すべての患者さんが、快適な環境で適切な医療を受けることができるように、他の患者さんのご迷惑にならないようご協力ください。

発行：特定医療法人社団三光会 誠愛リハビリテーション病院 (平成28年4月)  
編集：広報委員会